

鎌倉 パトナーズ



第61号 平成23年(2011年)12月発行(季刊)

鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

講演会報告・サポートセンター訪問	P 2	登録団体見て歩き	P 6
相談セミナー・相談Q&A	P 3	情報コーナー	P 7
かまくらファンド審査会	P 4	センターからのお知らせ	P 8
かまくらファンド審査会	P 5		



(玉縄まつり参加の様子)

講演会「低レベル放射能と健康への影響」



日 時：2011年12月2日 10:30~12:45
 会 場：鎌倉市役所第3分庁舎 講堂
 講 師：医学博士 崎山比早子氏（高木学校メンバー）

研修部会では8月3日に開催した市民対象の講演会「鎌倉に津波が来たら」に続いて、東日本大地震によりもたらされた「福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染」が鎌倉市にも及んでいる実態を踏まえて、テーマ「低レベル放射能と健康への影響」と題した講演会を開催しました。

講師の崎山博士は放射線医学総合研究所の主任研究員から、原発、プルトニウムの危険性を世に知らしめたことで有名な高木学校のメンバーに転出され、テレビや講演会で放射能の人体に与える影響について警鐘を鳴らしておられます。

早くから参加申込みが殺到し定員オーバーになり多くの方にお断りをする結果になりました。講演会は松尾市長のご挨拶を頂いて始まり、少し時間超過しましたが大方のご好評を頂きました。今回は予定していなかった講演資料を有料で販売することにしましたが、この資料は手元においても参考になるものと思います。

放射線障害のメカニズム、放射線障害に閾値は無いこと、医療被曝に対する認識を持つことの必要性等を判りやすく説明していただきました。

神奈川新聞の報道記事を見て、資料請求や、講師への紹介依頼もありました。（奥野 晃 記）



おだわら市民活動サポートセンター訪問

日 時：2011年10月21日 13:30~16:10

応対者：椎野理事長、塩海副理事長

訪問者：奥野、佐藤、板垣、中田、堀川、岩田、渡邊（以上研修部会員7名）

研修部会は毎年近隣の自治体の市民活動センターを訪問していますが、今年は小田原市のNPOセンターを訪問しました。センターはお堀端通りの赤い橋の近くの市民会館の4階にあり広いオープンスペースをパーティションで仕切って交流サロン、ワーキングルーム、円卓会議室等にしており、別に2つのミーティングルームがあります。

訪問の目的は予め連絡していただきましたので、いろいろな資料は用意していただいてあり、私達も予め用意して持参した資料をお渡しして、双方の活動状況などについて話し合いをしました。大変活発な話し合いになり、予定時間をオーバーしてしまいました。

私たちの運営会議の指定管理料が小田原市の指定管理料の参考にされているという裏話も伺いました。

小田原市は「自治基本条例」が平成24年1月から発効し、既に制定済みの市民活動推進条例に基づいて市民活動を展開しており、市民活動団体は活発な活動をしています。

今回も有意義な交流会になりました。（奥野 晃 記）



相談会 & 相談セミナー開催（11月21日）

たまなわ交流センターにおいて、鎌倉市市民活動センター運営会議相談部会主催の「相談会」と「相談セミナー」が開催されました。

午前中は個別の相談会、午後は「特定非営利活動法人と一般社団法人の設立」のセミナーが行われました。

相談会

今年より午前の相談会は、相談部会に所属する専門知識・資格を持った部員が、各々のケースに応じた相談コーナーを開設しました。

◆労務・社会保険 ◆会計・税務 他、法人運営、Web・IT、ライフプラン、助成金情報、ボランティア活動、諸官庁手続き、子育て暮らし全般などについて相談に応じました。

今回の相談会には、介護施設の立ち上げを計画中の市民活動団体が、スタッフの社会保険と、会計税務に関する相談に見えました。

NPOセンターでは、特定セミナー日に限らず、皆様の相談に応じております。分野ごとの相談日は「鎌倉NPOセンター」HPを参照ください。

セミナー

セミナーは特定非営利活動法人と一般社団法人の設立に関して、小林相談員が講師を務めました。それぞれの法人格設立選択のポイント、設立後の手続きの比較など、また、2012年4月から施行される認定NPO法人の改正と新寄付税制の導入についても、詳しい説明がありました。

今後、日本に寄付文化が根付いていくことが期待されます。NPO法人設立希望の若い方も参加され、熱心に聴きながら、いろいろと質問をされていました。団体に適した法人格を選択される時の知識が満載の講座でした。相談部会が両センターで開催している個別の相談日も、是非活用していただきたいと思います。

当センターホームページに「助成金情報」を掲載しています。

募集要項の概要がご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方は、センターにお越しただければ、情報をご提供いたします。また、相談部会では、個別のご相談にもお応えできる態勢を用意していますのでご利用ください。

詳しくは、運営会議ホームページをご覧いただくか、センターへお問い合わせください。

相談 Q&A

任意後見制度とは

Q：任意後見制度とはどんな制度ですか。

A：前号でご紹介した法定後見制度が、法律（民法）による後見制度であるのに対し、任意後見制度は、公正証書契約による後見制度です。

判断能力に問題がない健常者が、将来、精神上の障害により判断能力が低下した場合に備えて、自分自身の判断で選んだ任意後見人となる者との間で、あらかじめその権限の内容を定めた契約を締結し、実際に判断能力が低下した場合に、家庭裁判所が任意後見監督人を選任して、契約を発行させる制度です。

任意後見人には、契約で定められた代理権が与えられますが、本人がした法律行為についての取消権はありません。

なお、本人の判断能力が低下した場合、家庭裁判所としては、法定後見か任意後見かどちらの制度によるか、判断を要する場合がありますが、自己決定権を尊重する観点から、原則として、任意後見による保護を優先することとされています。（任意後見契約に関する法律第10条第1項）。

平成23年度

NPO支援かまくらファンド審査会 報告

平成23年11月3日、たまなわ交流センター会議室において、「NPO支援かまくらファンド審査会」が開催されました。

また、事前に審査が行われていた「みどりの特別ファンド」の助成団体も発表されました。

このファンドは運営会議自らが汗を流して集めた基金です。大きな金額ではないのですが、是非有効に使っていただきたいと思えます。

毎年、審査会の前に前年度ファンドをお渡しした団体にその成果を発表していただいています。一年前のプレゼンテーションではちょっととどろきがあった団体が、この場ではとても自信を持ってお話ししている姿を見ると、このファンドが大きな弾みになったことを実感し、支援をして良かったと感じています。

今年度は通常の審査枠とは別に、大船観音寺さまから「緑の保存に活動している団体」にとご寄付をいただきましたので、本年のみ『みどりの特別ファンド』として別枠を設けました。7団体が応募し、ファンド部会内で審査の結果、5団体にお渡しすることといたしました。

大船観音寺さまに感謝いたします。

ファンド審査員の選定もファンド部会で行っています。近年は幅広い方々に審査員として参加して頂いています。

ファンド審査会に限りませんが、日々活動している団体を評価することはとても難しいことです。公平に公正に評価するために、ファンド部会の見識を上げる努力をしていきます。

近年のファンド応募は減少しつつありますが、広報活動を充実させ、新しい時代に即した新しい団体を掘り起こしていきたいと考えています。多くの団体の応募をお待ちしています。

(ファンド部会 香山隆 記)

ファンド資金は

一般企業や市民、鎌倉市市民活動センター登録団体からの寄付、運営会議正会員がお祭りやイベントで集めたお金から成り立っています。



かまくらファンド助成団体	<主な活動>	<助成申請活動>
腰越まちづくり市民懇話会	神戸川の清掃や地域のイベント参加を通し、腰越・津の街づくりを進める活動	新しい住民、観光客に腰越・津の街を知ってもらい、また、昔から住んでいる住民には街を再確認してもらうための「腰越マップ」を作成するための助成申請
大船ボランティアセンター	高齢者宅の庭木の手入れ、草取り、修理をする活動	来年度も行う復興支援活動のための助成申請
全日本年金者組合鎌倉支部	年金学習・相談、高齢者の暮らし・健康・福祉などの問題に取り組む活動	鎌倉が戦争にどうかかわったかを伝えるために作成した「戦中・戦後体験記—生きてきたを伝える」を使用した活動への助成申請
かまくら認知症ネットワーク	家族、近隣、医者が市民の目線で認知症に取り組むネットワークづくり	啓発のための資料作りや家族への交通費、保険代の補助への助成申請

審査後の講評

審査結果発表後、前田陽子審査委員長より5つの評価項目「社会性・公共性」「計画性」「継続性・発展の可能性」「活動への意欲」「新しい視点からの市民活動」についての説明と助成団体への講評が行われました。

講評では、「自助努力」の重要性とともに助成団体の助成理由について次のようなお話がありました。

<腰越まちづくり市民懇話会>

街を愛する気持ちが伝わってくるプレゼンであり、MAP作成における街づくりを期待したい。イベント参加への企画が線密であった。

<大船ボランティアセンター>

社会福祉協議会での活動にとどまらず、自主的に企画した震災復興支援活動を評価した。

<全日本年金者組合鎌倉支部>

冊子を使っての平和な街づくりの活動を評価した。

<かまくら認知症ネットワーク>

高齢化が進む鎌倉で、認知症本人と家族を支える活動を評価し、当事者が閉じこもらないための「かまくら散歩」に期待したい。

みどりの特別ファンド助成団体

みどりの特別ファンド助成団体	<主な活動>
谷戸池を良くする会	大船観音寺の奥にある谷戸池の水質改善活動を近隣住民の手で進めている。
藤源治の緑を守る会	山ノ内にある都市緑地候補地「藤源治」の保全に向けての活動を展開している。
北鎌倉湧水ネットワーク	北鎌倉・六国見山森林公園周辺の山林整備を地区住民と共に行っている。
玉縄児童公園花壇の会	玉縄の児童公園での花壇整備を地域住民が自主的にやっている。
かまくら緑のレンジャー	源氏山などで行政と共に緑地保全活動を行っている。



< 審査員の方々 >

- 小山 賢太郎さん (漫画集団 日本漫画家協会参与)
- 福谷 日登志さん (鎌倉市市民活動課次長)
- 大屋 進さん (鎌倉広町の森市民協議会)
- 前田 陽子さん (みどりショップの会)
- 渡邊 公子さん (鎌倉市市民活動センター運営会議事務局長)
- 広瀬 光世さん (鎌倉市市民活動センター運営会議正会員)



イベント情報 (12月)

友愛セール

- 手作りの品
 - ☆鍋帽子(保温調理)
 - ☆ケーキ・クッキー・和菓子・練り味噌 etc
 - ☆胸当てエプロン・スモックエプロン
 - 共同購入品
 - 婦人之友社書籍
 - ☆婦人之友・かぞくのじかん etc
 - 新品・中古品(雑貨・衣類)
- 開催日時：平成23年12月16日(金)10:30～13:00
 会場：日本基督教団鎌倉雪ノ下教会 地下
 主催：鎌倉友の会
 問合せ先：0467-32-9087(森)、0467-25-2536(土谷)
 E-mail：kamatomo16@gmail.com
 HP：http://www.kamatomo.sakura.net

鎌倉古楽祭10周年 世界の歌ものがたり

ドイツ — ジングシュピール(ウタ語り) —
 イギリス・アメリカ — 新世界への希望 —
 イタリア — ベルカントの夢 —
 日本 — 歌・唄・謡の咲きはふ国 —
 「うた」、男声、女声、若い声、熟練の声、独唱、重唱、合唱
 語り、器楽、影絵がものがたりを紡ぎだす
 世界の歌ものがたりをお楽しみ下さい

出演者：塩田絢子、田中直子、山口菜見子(ソプラノ)
 佐野清彦、堀内陽子(ピアノ)
 武藤佳子、八島ともこ(ピアノ)
 KSシング・アロング、百々の会 他

開催日時：平成23年12月25日(日)14:00開演 13:30開場
 会場：鎌倉生涯学習センター ホール
 入場料：1500円(全席自由)
 (チケット販売店)島森書店
 主催：地球音楽園
 助成：芸術文化振興基金
 問合せ先：0466-33-9677(田中)

講演会と写真展のつどい

講演会「リスク社会を生きる、子ども・若者たち」 —震災・原発事故後の日本社会—

開催日時：平成23年12月17日(土)13:30～16:00
 会場：鎌倉生涯学習センター 4階 第7集会室
 講師：中西新太郎(横浜市立大学教授)
 参加費：500円(資料代)
 定員：30名
 主催：風の学園と教育を考える会(風の学園後援会)
 申込方法：FAX 0467-22-5477、又はメール、往復はがき
 氏名、郵便番号、住所、電話・FAX番号、メール
 アドレス、参加人数を明記のこと
 248-0016 鎌倉市長谷2-11-21 鎌倉・風の学園
 E-mail：uketuke@kaze.gr.jp

写真展「鎌倉景」

—京に背を向けた頼朝の城塞都市が今に重層する—

尾辻弥寿雄(日本写真家協会会員)

開催日時：平成23年12月13(火)～18日(日)10:00～18:00
 初日13:00～、最終日17:00まで
 会場：鎌倉生涯学習センター ギャラリー C

イベント紹介募集!

登録団体のイベントの紹介をしています。
 掲載を希望する団体は、情報をお寄せください。
 ○ パートナーズは年4回、3か月毎に発行しています。
 (6月、9月、12月、3月)
 ※原稿の〆切日：原則として発行月の前月中旬
 (5月15日、8月15日、11月15日、2月15日頃)
 ○ ホームページは、その都度更新します。
 ※原稿の〆切日：原則としてイベント開催日の1か月前
 ※原則として2か月前より掲載いたします。
 【送付先】 NPOセンター大船 FAX：42-0345
 e-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

イベント情報 (1月~3月)

ホリスティックカウンセリングによる 第34回「こころ・生き方」講座(全過程5日間)

前頭葉連合野(感受性・人間性・実存性)を育む道

開催日時：平成24年1月20、27日、2月3、10、17日(金)
10:00~12:00
会場：臨床共生心理実践研究所(鎌倉市稲村ガ崎3-12-1)
講師：渡邊八郎(日本学校教育相談学会「神奈川」理事長)
参加費：5000円(5回分)
主催：臨床共生心理実践研究所
申込み：(電話/FAX)0467-23-3828
(メール)下記参照、はがき(上記参照)
締め切り：平成24年1月16日(月) 必着
E-mail: hachiroh@mx10.ttcn.ne.jp

自然環境と人間生活を考える会主催講座

龍の棲む鎌倉 「鎌倉龍神伝説」を追って

開催日時：平成24年1月21日(土)10:00~11:30
会場：鎌倉生涯学習センター 第6集会室
講師：政尾 吉郎(鎌倉郷土史家)

日露戦争を勝利に導いたリーダー 児玉源太郎について語る

開催日時：平成24年2月26日(日)10:00~11:30
会場：鎌倉生涯学習センター 第5集会室
講師：原 剛(NHKドラマ「坂の上の雲」陸軍軍事考証)

参加費：500円
主催：自然環境と人間生活を考える会
申込先：090-4710-3790(渡邊)
E-mail: tm6903@live.jp



玉縄歴史アカデミア

連続講座「快元僧都記の世界」 —武家の古都鎌倉に後北条氏が残した足跡—

開催日時：平成24年2月12日、19日、26日(日)
9:30~11:30
会場：玉縄学習センター 2階 第2集会室
講師：伊藤一美(NPO法人 鎌倉考古学研究所 理事)
受講料：3回分 3500円(資料代共)
※初回にお支払いください
募集：30名(申し込みは1月8日から)
※満員になり次第締め切り
主催：玉縄城址まちづくり会議
申込先：TEL/FAX 0467-45-7411(荒井)
E-mail: artbank21@nifty.com
HP: <http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo>

映画会「マルタの優しい刺繍」

開催日時：平成24年2月18日(土)
①10:00~ ②12:15~ ③14:30~
会場：鎌倉生涯学習センター ホール
入場料：前売り 大人 800円 高校生以下 500円
当日 大人 1000円 高校生以下 600円
主催：鎌倉友の会
問・申込先：0467-32-4376(田中)、0467-45-9222(大野)
E-mail: kamatomo16@gmail.com
HP: <http://www.kamatomo.sakura.net>

玉縄寺子屋雛祭りお話し会

玉縄朗読会のお話しと昔遊び

開催日時：平成24年3月3日(土)10:00~11:30
会場：玉縄ふるさと館
参加費：子ども100円、大人200円
主催：玉縄城址まちづくり会議
申込先：TEL/FAX 0467-45-7411(荒井)
E-mail: artbank21@nifty.com

<玉縄ふるさと館> 玉縄城模型展開催中

入館料：子ども100円、大人200円

登録団体見て歩き

鎌倉の別荘地時代研究会

「鎌倉の別荘地時代研究会」は2011年4月から活動を開始しました。目的は次の4つです。

- ・明治、大正期の鎌倉の別荘地化を中心に地域史を研究する。
- ・月例会において研究発表を行う。
- ・鎌倉中央図書館収蔵の別荘関係資料の整理に協力する。
- ・湘南邸園文化祭へ協力する。

島本千也さん(地理・地域研究者)他2名の合計3人を代表として、会員は現在20人ほどです。

月1回 第3土曜日10時~12時に例会を行っています。場所は鎌倉中央図書館多目的室、あるいはNPOセンター鎌倉2階会議室です。

1回500円の資料代を徴収しています。

研究テーマ(活動内容)は、別荘地時代の鎌倉について多方面に及んでいます。これまで、

- ・山本条太郎別荘について
- ・海江田信義別荘について
- ・別荘文化と妾宅
- ・鎌倉山の住宅地と別荘
- ・鎌倉海浜ホテルについて
- ・関東大震災と別荘族

などの発表がありました。

今後の予定として

- ・鎌倉同人会の活動に見る近代鎌倉のまちづくり
- ・中浜東一郎別荘について
- ・前田家別荘の写真
- ・鎌倉の土地台帳について

などを予定しています。

11月19日(土)には、『湘南邸園文化祭』に参加して「鎌倉の別荘地時代を歩く」ツアーを実施しました。研究対象の地域は鎌倉だけに限定しないで逗子・葉山など湘南地区についての研究(発表)も含んでいます。

現在、会員を募集しています。(取材 廣明)

連絡先: 島本千也 電話: 0466-34-7100



(鎌倉市・長谷 山本条太郎別荘前で)

紙芝居クラブ「虹のひきだし」

紙芝居クラブ「虹のひきだし」は、ひきだしを開けたら、ふわっと虹が出てくるイメージで名付けられ、昨年4月から活動をしています。会員は10名ほどいますが、実際の活動はほとんど一人でを行っています。当初、「稲むらの火」の話を題材として、青少年の心の育成に役立てることを目的に紙芝居を始めたそうです。

公園で、手作りの拍子木の音に集まってくる人達の前で演じる、昔ながらのスタイルで活動をスタートしました。デイケアセンターや高齢者施設でも、紙芝居はとても喜ばれるそうです。場所や年代に応じたものを演じられるようにと、多くの作品を幅広く集めているとのこと。

震災直後からは、被災地に支援物資を運ぶ活動を続けています。5月には、石巻市で行われた復興市での紙芝居が、インターネットでの募集により集まった紙芝居や物資を使って実現することができました。ブログにアップされたその様子を見て、提供してくれた方々も喜ばれたそうです。

被災地では、個人で活動することは難しく、NPOセンターに登録することを決めました。

パソコンは得意で写真も好きなので、ブログやホームページに活動の様子や情報を、どんどんアップしているそうです。

とても忙しい毎日ですが、「やりたいことはまだまだいっぱいある」ということです。

その一つは、被災地での紙芝居をとおしての復興に関わる活動です。もう一つは、「稲むらの火」を持って全国を回りたい、というものです。「これから津波が来る可能性がある場所もあるので、先に持って回って行きたい」とのことでした。

「紙芝居をとおして何かを感じてもらいたい。自分に出れることはそれだから」(取材 村山)

<http://www.geocities.jp/denkioji3/niji>

連絡先: nijinohikidashi-kai@yahoo.co.jp (町田)



情報コーナー

センターPRイベント参加

鎌倉市市民活動センターのPRと地域交流を進めるために「鎌人いち場」「玉縄まつり」に参加しました。鎌人いち場では、「宝つり」を、玉縄まつりでは、「宝つり」のほかに「プリクラ」を行いました。ゲームを楽しむ子どもとそれを見守るお父さん、お母さんたちの優しい眼差しにも触れることができました。



(鎌人いち場)



(玉縄まつり)

鎌倉駅地下道 ギャラリー展 開催



12月6日～12日にかけて、JR鎌倉駅地下道において「ギャラリー展」が行われました。今年は20枚のパネルのうち3枚が「震災支援活動」のパネルとなりました。<参加団体> ☆鎌倉市政を考える市民の会 ☆鎌倉歩け歩け協会 ☆キープ鎌倉クリーン推進会議 ☆鎌倉を美しくする会 ☆湘南失語症者を支援する会 ☆鎌倉視聴覚協会 ☆なかよし会 ☆図書館とともだち・鎌倉 ☆山崎・谷戸の会 ☆地球の木・鎌倉 ☆鎌倉消費者連絡会 ☆鎌倉邸園文化クリエイション ☆鎌倉広町の森市民協議会 ☆日本語COSMOS ☆ふれんど ☆Share Heart KAMAKURA ☆常盤道普請の会 ☆朋ボランティアグループ ☆ちきゅうの子22 ☆震災支援団体の活動

市政功勞表彰

鎌倉市の市政記念日である11月3日、市の発展に功績があった人や団体の表彰がありました。

センターの登録団体である「日本語COSMOS」が教育文化功勞（教育・スポーツの振興に貢献）、「鎌倉を美しくする会」が環境保全功勞（地域美化に貢献）の表彰を受けました。

「日本語COSMOS」は、外国籍の人に日本語を教え、言葉の壁を越えることにより、より早く自立することを支援する活動を、「鎌倉を美しくする会」は、市内各所での美化清掃、落書き防止など多岐にわたる活動を行っています。

東日本大震災支援金について

東日本大震災支援募金の受付を9月末日で一旦終了いたしました。皆さまからお寄せいただきました支援金は、259,074円となりました。ご協力ありがとうございました。

支援金は、「鎌倉市東日本大震災被災者救援募金」への寄付や鎌倉の「西ヶ谷団地」を中心に避難してきている方たちの支援に使わせていただきます。

今後は、支援や募金の方法を検討し、改めてご協力をお願いしたいと思います。

鎌倉市広報誌『広報かまくら』の「クローズアップ市民活動」で活動団体紹介をしています。掲載を希望する団体はセンター受付にお申し出ください。

活動PR団体募集

NPOセンターからのお知らせ

新収図書のお知らせ

～NPOセンター鎌倉～

《図書》

- ◇ **NPO 法人会計基準「完全収録版」**
発行：NPO法人会計基準協議会 2011年8月
- ◇ **ここからはじめるNPO 会計・税務**
発行：ぎょうせい 2010年9月
- ◇ **たあとる通信「NPOの情報開示と会計」特集**
発行：アリスセンター 2011年7月

時間外利用時の機器使用について

センター時間外利用時の機器使用は、次のとおりとなっております。ご了承ください。

- ・ **パソコン**：利用できません。
- ・ **コピー機**：前もって購入していただいたプリペイドカードでご利用いただけます。
- ・ **プロジェクター**：事前に利用申請書を提出してください。
- ・ **印刷機**：「時間外利用責任者登録」の他に「ワーキングスペース及び印刷機時間外使用登録」が必要です。受付にお申し出ください。

23年度 第2回登録団体懇話会のお知らせ

日時：平成24年1月28日（土）15時～17時
 場所：NPOセンター大船・たまなわ交流センター
 内容：詳細は、登録団体宛のお知らせをご覧ください。

新規登録団体の紹介(平成23年12月1日現在)

- ☆ **ストレッチ&ソフトエアロ234**：ストレッチやリズム体操等を通して、中高年の生活習慣病予防に取り組む活動
- ☆ **短歌サークル「プリズム」**：短歌を通して、子育て中の母親や家族介護従事者のストレスを解消する支援や、様々な問題を抱えた方々の心の支えとなる活動
- ☆ **英文研究会**：翻訳の知識と技能の向上を図り、英訳、翻訳希望者の支援を行う活動
- ☆ **かまくら防災倶楽部**：積極的な情報共有とコミュニケーションにより個々の防災意識を高めることと地域の連携を深めることにより地震による死者ゼロを目指す活動

会議室利用時間について

センター会議室の午後の利用時間につきまして、パートナーズ60号で13時より16時30分とお願いいたしました。17時までとすることといたします。

時間内に後片づけも終わるよう、ご協力ください。

なお、機器使用等の会計は16時30分までに済ませていただくようお願いいたします。

午前：9時～12時30分 午後：13時～17時

※お昼をはさんで利用することもできますので、お申し出ください。

平成23年12月1日現在 **利用登録団体数：404団体**

お願い 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。

発行：鎌倉市市民活動センター
 編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議 広報部会
<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
 TEL:0467-23-3000 内線 2655
 TEL:0467-60-4555(直通)
 FAX:0467-61-3928
 E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
 (たまなわ交流センター 1階)
 TEL/FAX:0467-42-0345
 E-mail:npo2@abelia.ocn.ne.jp